

第9回 公開講演会

「最先端の"ものづくり" --- 化学研究所の挑戦」

期日：2002年6月22日（土）

会場：京都大学宇治キャンパス（化学研究所 共同研究棟大セミナー室）

主催：京都大学化学研究所

協賛：日本化学会近畿支部

京都大学化学研究所は原子核科学からゲノム解析、さらにはバイオインフォマティクスまで、科学の幅広い領域をカバーして活発な研究活動を展開してきています。

近年、"ものづくり"も原子のレベルで制御が可能となりつつあり、そのような技術をもとにした"ものづくり"がナノテクノロジーとして注目されています。化学研究所では無機素材から、生物材料にいたるまでナノレベルさらには分子、原子レベルでの精密制御により、高機能性素材開発につながる基礎研究が展開されています。今回は、化学研究所でのこのような最先端の"ものづくり"や"ものづくり"につながる基礎研究を活発に行っておられる先生方の夢のあるご研究をわかりやすく紹介していただきます。

10:00 - 開会

10:03 - 10:15 挨拶

化学研究所所長 高野幹夫

10:15 - 10:55 「ナノ構造を操る --- 新しい磁性体を求めて」

京都大学低温物質科学研究センター教授 壬生 攻

(10分間) 質疑応答

11:05 - 11:15 休憩

11:15 - 11:55 「21世紀のガラスを創る」

無機素材化学研究部門IV 教授 横尾俊信

(10分間) 質疑応答

12:05 - 13:15 休憩（昼食）

13:15 - 13:55 「高分子を自在につくる --- リビングラジカル重合とナノ構造機能材料」

有機材料化学研究部門I 教授 福田 猛

(10分間) 質疑応答

14:05 - 14:15 休憩

14:15 - 14:55 「バーチャル細胞はつくれるか? --- コンピュータの中の遺伝子ネットワーク」

バイオインフォマティクスセンターIII 教授 宮野 悟

(10分間) 質疑応答

- 15:10 閉会